

3月定例記者会見事項書

平成29年3月6日（月）午前11時～
市役所2階 市議会第1委員会室

1. 市長からの発表

皆さんこんにちは。

先月の2月22日に「忍者市」宣言をしました。

4月からゴールデンウィークにかけてたくさんの観光客の皆さんに楽しんでいただくと共に、インバウンドの受入れや、環境を調べていきたいと考えています。

本日の私からの発表は4件です。

（1）しらさぎ運動公園の全面供用開始について（資料No.1）

平成22年度から整備を行ってきました「都市公園しらさぎ運動公園」が本年3月に完成予定で、4月1日から全面供用を開始します。

その概要は、工事期間7年、総事業費約18億3千万円、整備後の面積は約7.9ヘクタールで、主な施設としては、既にゲートボールやグラウンドゴルフなどご利用いただいています全天候型の「多目的グラウンド」や「管理棟」、そして今年度は「里山広場」、「多目的芝生広場」や1周600メートル、高低差が11.4メートルあります「ジョギングコース」を整備しましたので、市民のみなさんに広く周知させていただき、日頃の健康増進等にお役立ていただければ幸いです。

また、当該施設は、大規模な災害が発生したときには、支援物資の仕分けや自衛隊の活動拠点として活用される防災拠点の位置付けも持っている公園です。

4月以降になります。自衛隊のご協力もいただき、施設のお披露目の予定をしておりますので、決定いたしましたらご案内させていただきます。

（2）独立行政法人国立西洋美術館長 馬淵明子氏講演会について（資料No.2）

独立行政法人国立西洋美術館 館長の馬淵 明子氏をお招きして「ル・コルビュジエと日本近代建築の価値について」と題しご講演をいただきます。

既に報道機関等へは、資料提供をさせていただいているところですが、ル・コルビュジエの弟子、坂倉準三が設計した伊賀市役所をはじめ彼の影響を受けた昭和から現在までの近代建築の価値について語っていただきます。

優れた建築資産の価値について再認識頂ける有意義な機会になるものと確信しています。また、馬淵氏は日本女子サッカーリーグ理事長に就任されており、第15回伊賀市長杯女子サッカー大会・忍びの里レディーストーナメント」が3月11日から12日に開催が予定されており、ご講演の後には、忍びの里レディーストーナメント歓迎レセプションにもご参加いただく予定となっております。

（3）台湾高雄市訪問「友好祈念額」の贈呈、台湾からの教育旅行について（資料No.3）

先月の2月9日から11日にかけて、台湾台東県と高雄市を訪問してまいりました。台東県では、早朝より黄建庭（こうけんてい）県長と面談し、伊賀市と台東県の今後の

友好、交流関係の発展について懇談を行ないました。特に台東県はスポーツと芸術による交流を希望しているようで、お互いに息長く連携できるよう考えていきたいと思えます。

台東県から鉄道で台湾第2の都市・高雄市へ向かいまして、三重県知事、桑名市長、志摩市長、南伊勢町長と合流して、高雄市のメディアや財界、教育関係者に三重県の観光や食材をPRする「三重県ナイト」に出席しました。伊賀市からは忍者と昨年のサミットの乾杯酒に選ばれた「半蔵」をはじめとする伊賀市の7つの蔵元の日本酒を持ちこみ、食材の素晴らしさもPRしてきました。

この額ですが、これは高雄市教育局より三重県と高雄市の教育旅行推進合意を記念して三重県と参加市町の首長に贈られたもので、高雄市立の学校の校長先生達が高雄の観光名所を描いたものだそうです。

高雄市教育局としては、海洋教育の交流として桑名市、志摩市との連携を行なうとのことですが、高雄市からの直行便が関西国際空港に就航している関係上、三重県を訪れる際は必ず伊賀市に立ち寄りたいたいという話をいただいております。また7月には台東県の中学校から10名程度ではありますが伊賀へ教育旅行に訪れたいとの話も進んでいます。

今回の台湾・高雄市を皮切りに、海外の教育旅行の受入も視野に入れた取り組みを検討したいと思えます。

（４）特定非営利活動法人あわてんぼうの最優秀賞（農林水産大臣賞）受賞について

（資料No.4）

国では、農山漁村生活並びに農山漁村の活性化に優れた活動の実績をもち、高齢者の活動の推進のために積極的に活動している経験豊富な女性や高齢者といった地域の多様な人材が農山漁村でいきいきと活躍できる環境づくりの推進に資する目的で、毎年農山漁村男女共同参画推進協議会の主催で優秀な団体や個人を対象として表彰を行っています。

このたび、伊賀市猿野において活動されている「特定非営利活動法人 あわてんぼう」が、平成28年度農山漁村女性・シニア活動表彰として、シニア起業・地域活性化部門の最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞されることとなりました。

全国から多くの団体や個人が表彰の対象になっていたと伺いましたが、三重県内で唯一、それも最優秀賞を受賞されたことは、大変喜ばしいこととあります。改めて「あわてんぼう」の皆様には栄誉ある受賞に対し、「おめでとう」と祝福したいと思えます。

表彰式は、明日3月7日に東京大学安田講堂で行われ、農林水産大臣賞を受賞される「あわてんぼう」を含む5団体は活動報告も行うこととなっています。

「あわてんぼう」は、過疎化・少子高齢化の課題を抱える地域を活性化するために、美しく豊かな自然環境や伝統ある食文化を守りながら、地産地消による「食」を提供する「場」を開設し、住民自らが「あわ（阿波）」地域の将来を「てんぼう（展望）」しつつ地域づくりに参加することで、互いに顔が見えるコミュニティを構築することを目的とし、更に事業を継続展開する中で、地域住民が健康で安心して暮らせる里づくりに寄与するために、平成25年9月に特定非営利活動法人として認証され、設立されました。

具体的な事業内容は、地産地消の拠点の場「山里レストラン」の運営事業や高齢者家庭、独居家庭への昼食の提供と配食（宅配弁当）事業などを主体として、地域活動への

積極的な参加を実践されており、地域のニーズに対応した様々な事業に取り組まれています。

このような地域貢献活動が認められて、今回の受賞に結びついたことで、今後もますます活動意欲が向上することとされます。

今後は、事業継続と更なる発展に繋げていくために、次世代の育成に努めていただき、地域住民が「健康で安心して暮らせる里づくり」を目指して、地元の阿波地域住民自治協議会とも連携して、「人を元気に 地域を元気に」するために組織の規模拡大も図っていただきたいと考えます。

私はこのような取組みが市域全域で実施され、それぞれの地域が元気になり、やがて伊賀市全体の活性化に繋がっていくことを願っています。

そのためには、「あわてんぼう」に今後も良いお手本として、ますます発展していただきたいと思えます。

2. 3月の主な行事予定

(1) 2017年3月 寺田市民館「じんけんパネル展」の開催について (資料No.5)

日時：3月1日(水)～30日(木) 午前8時30分から午後5時(平日のみ)

※ 3月8日(水)・15日(水)・22日(水)は午後7時20分まで延長

場所：寺田教育集会所 第1学習室

内容：『水平社宣言』

主催者：人権生活環境部 寺田市民館 (電話：0595-23-8728)

(2) 災害時における畳の提供等の協定調印式について (資料No.6)

日時：3月15日(水) 午後1時30分から

場所：市議会第2委員会室

内容：災害時における畳の提供等の協力に関する協定

協定先：「5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会」

主催者：総合危機管理課 (電話：595-22-9640)

3. その他(主な質疑応答の概要)

【台湾高雄市訪問「友好祈念額」の贈呈について】

記者：台湾の友好祈念額これはどういったものですか。

市長：焼き絵みたいです。木肌に焼き印のような形で焼き絵という技法だと思いますが、「固い盟友関係を永遠に」と書かれており、高雄市政府教育局局長ハン ソンギョクさん」から頂きました。

桑名市、志摩市の市長さん、南伊勢町長さん、私、それから知事、それぞれに頂戴しました。教育旅行等々しっかりと交流して行きましよう各校長先生たちが、焼き絵にいただいたものです。これは高雄の見どころで、建物であるとか古跡であるとか、有名なところが描かれています。

記者：夏には教育旅行団が来るような形で話が進んでいますか。

市長：とりあえずは7月に高雄市より10名程度。先生は1名程度ですけど中学生は10名程度です。志摩の方へ行かれるけど、その途中に関空から直行便が入ってくるので東へ向いてくるときは伊賀が玄関口になります。

高雄市の校長先生たちを一同にお集めたらとても忍者に関心のある校長先生がおられて是非是非、学校上げて訪問したいと言われていました。

記者：将来的には市長の構想でもあると思いますが、前から言われているように将来的にはこの10人というレベルではなくて日本における修学旅行みたいな、ああいうのを誘致したいということですか。

市長：今回10人という台東県の話で高雄はもう少し大きい団体でこれから志摩とか桑名の方へ来ますので間違いないということです。ちょうど夏休み前なので伊賀市内の小学校と同じ授業を受けてみたいと。それはスポーツでもいいですし、何でもいいので

【しらさぎ運動公園について】

記者：しらさぎ運動公園のことで、もともとは2015年度完成予定と聞いていましたが、遅れていた理由を簡単に教えてください。

都市計画課：国の予算がつかなかったためです。

記者：2015年の完成工事の概算事業費が約17億円ということで、最終18億3千万円で少し金額あがっているということですけど、このあたり何かありましたか。

都市計画課：17億数千万円は国費事業ベース国の事業費という解釈です。全体は当然、単独事業も入ってきますので平成26年10月31日議員全員協議会におきまして説明をさせていただいた事業費につきましては総事業費18億9千万円、工期延長につきましても平成26年度末として認めていただいたということでございまして当初18億9千万円と考えていたものが18億3千万円ということでございます。

記者：6千万円を圧縮したのは人口芝のグラウンドの見直し部分ということでよろしいですか。

都市計画課：人口芝の見直し等につきましては26年当時に見直した金額を提示させていただいております。今回の件につきましては大型遊具等を計上したものを無しにしての芝の方で対応したという風なことになります。

記者：自衛隊を含めてお披露目するどういうお披露目の仕方ですか。

都市計画課：大規模な災害等が起きたときに広域防災施設、上野農業高校がそういう施設になっています。そういったところへ県からの物資が一斉に送られてくる事が想定されます。その内伊賀市分につきましてはそういった物資の仕分け等についてグラウンドへ物資を持って行ってそれぞれのところへ運ぶための仕分けの作業を行うということでございます。

記者：4月のお披露目のときに自衛隊が歓迎するのはどうか。

都市計画課：自衛隊に4月1日から供用開始させていただきますよということで話をさせていただきました。お披露目会の中で活動が出来るような啓発するパネルや自衛隊車両を展示してもらえないかという風なところで今、協議中でございまして日が揃いましたら皆様方にご案内します。

【災害時における畳の提供等の協定調印式について】

記者：5日で5000枚プロジェクト実行委員会ってどういう人で組織されていますか。
総合危機管理課：全国の畳を販売してくれている店舗の集合体でございます。全部が入っているわけではありません。

記者：伊賀市と調印するのは実行委員会。伊賀市内の畳屋さんとか入っているのですか。

総合危機管理課：伊賀市からは1店舗加入しています。

記者：調印の日には来てくれますか。その畳さんは来てくれるのですか。

総合危機管理課：はい。当日来ていただける予定です。既に三重県下では亀山、鈴鹿、四日市が調印していて、その次に伊賀市となります。

【忍者市宣言について】

記者：忍者市宣言してこういう反応があった、こういう新しいことがあったや、郵便が三重県忍者市で届かないかと言われていたけど、そのようなこと含めて何かありましたか。

市長：郵便物が三重県忍者市で届くことになれば面白いと思います。また、忍者市宣言後に他市へお出かけをしますと市の首長さんたちからも良い反応がいただけます。結構インパクトがあったと思います。これをしっかりと形として進めて行く、或いは忍者市の行事が見えるようになっていただいた方に満足できるようにしたいです。宣言のインパクトは大きかったと思います。8月に一つの事業を考えています。予算が通れば最終日予算でOKの予定ですけれども予算に合わせまして東京、名古屋、京都、新幹線の改札入ったところにデジタルサインがあるのですがそこで忍者市宣言をした映像を流すのと、全てのグリーン車の中に社内誌が2誌ありますが、その見開きページやトップページに載せてもらう。

記者：忍者市宣言のときは外部的な発信を具体的におっしゃってもらったわけですがけれども、市長から見て発信等伊賀市に足りない形で言えばどういったことでしょうか。

市長：我々は一生懸命発信したり、背中を押していますが、それを実際の成果として味わっていただくというか、手にしていただくのが市民、商店、企業の皆さんとなり、そういう方たちがしっかりと果実に結べるように努力をしていただきたい。観光に来ていただける国内外の皆さんに満足していただくようなことをしていくのが大切なことです。自ら頑張っていただくことがこれから益々大切、それは頑張れば頑張るだけ効果があがってくると思います。

【南庁舎の利活用について】

記者：市議会の予算委員会レベルでこの南庁舎利活用の賛成は1対18だったと思いますが、終わったあと市長は議会がその調子なら私は私でやると言われていたがどうされますか。

市長：方法はいくつかあるのですが、あまり今新しい議員を迎える時期に刺激をしない方がいいのかなということがあります。やれば出来るのですが、もう少し皆さんに穏やかに前を向いていただける方法が今、議会の中から出て来ていると思っています。また、そういった芽が出たほうがいいのかなと思っています。

記者：方法はあるけど、現段階でこの方法を取るということは公にする段階ではないということですか。

市長：それよりも今、議会の議員の皆さんの中に芽生えてきている前向きな風を、4月

になって開花をさせていただいた方がいいのかなと思います。

記者：特に3月8日の最終日ですけども予算委員会のなにもありませんか。

市長：粛々と閉会を迎えたいと思います。

記者：市議会改選後に新たに基本計画のことについては図りますか。

市長：市民の皆さんもいつまでやってるんだと思っている人もいらっしゃいますし、そういうことも議会の皆さんも感じていると思います。早く次の事柄を出していくのが大事かと思います。某大手コーヒーチェーン年商1200億円という大企業ですからそうしたものがうちに来ていただけということは、企業誘致ということになるわけです。そんなことをいろいろと考えていただけたのかなと思います。

記者：やっぱりスターバックスは大きいですね。

市長：大きいです。ハイトピアが完成したときをお願いしたんですが、全然素っ気無かったのが、この建物だったら是非と言う、やっぱり我々市民にとってもありがたい話だし、商工業会にとっても1200億の規模ですから。

【こどもの医療費窓口無料化について】

記者：窓口の無料化の件ですが、名張市も来年から始めるということを市長が表明されました。国では国民健康保険の改正があるとのことですが、伊賀市は先行して今年の秋から進めたいと市長が言われていた。その後の動きはどうか。

市長：名張市長も同じ電算システムらしいですのでうちだけでやるよりも、やっていただけのだったら共同でやる方が負担もシェアできますし、いいのかなと思います。そういう意味でいくと我々は10月目処でいきますけど、共同で安くなるのだったら少し時間的なずれもあるけど具体的にその辺のところを確認するように担当には伝えていきます。

記者：負担が少なくなるようでしたら春にずらす可能性もあるのですか。

市長：無きにしも非ずですが、その間におそらく国全体の動きも変わってくるんだろうと思います。県内でも四日市市もやりたい。桑名市もやりたい。津市もやりたい。鈴鹿市が4月からやる。うちも10月を目処に、知事自身もどんどん市町の方からやり始めてくださいと言っていますので、進んで行くと思います。すごくいい風が吹いてくるかなと思います。